## 7. 東口駅前広場の検討

# ① 東口駅前広場の現況課題の整理

・東口は、歩行者の通行及びにぎわい創出のための空間が不足している。また特に、バスの降車場が利用者にとって分かりづらく、交通機能の集約化が求められる。



## ② 東口駅前広場の課題解決の方向性

# 駅前広場の現況課題、留意点

・現在及び将来の駅前広場需要に対す る駅前広場面積の不足。

・駅前広場における回遊性向上やにぎ わい創出のための歩行者空間の不 足。

・東口のアロマスクエア前のバス降車 場等、駅まで遠く不便な交通施設の 存在。

・羽田空港の国際化、公共交通の利用 促進を図る低炭素都市づくりの推 進、京急連続立体事業等、駅前広場 計画に関連する最新の動向への対 応。

# 課題解決の方向性

### 【課題解決の方向性①】

・バス乗車場の待機スペースとしての活用による全体のバス乗降場数の削減を 検討する。

#### 【課題解決の方向性②】

補助36号線の一方通行化等、交通規制の変更による駅前広場機能の拡充を検討する。

#### 【課題解決の方向性③】

・駅直近街区との連携など駅前広場機能 の拡充の方策を検討する。